

決算説明資料

2022年度決算概況

2023年5月15日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

I.2022年度決算

22年度連結業績概要（対前年度）	4
セグメント別売上収益	5
セグメント別コア営業利益	6
コア営業利益分析（セグメント別）	7
非経常項目内訳	12
連結財政状態計算書	13
連結キャッシュ・フロー	14

II.2023年度予想

23年度業績予想概要（対22年度）	16
セグメント別売上収益予想	17
セグメント別コア営業利益予想	18
売上収益・コア営業利益（予想）分析 （セグメント別）	19
連結キャッシュ・フロー予想	24

(参考資料)

セグメント別売上収益（四半期推移）	26
セグメント別コア営業利益（四半期推移）	27
売上収益分析（22年度セグメント別）	28
設備投資／減価償却費／研究費／期末人員	31
セグメント別 設備投資	32
セグメント別 設備投資予想	33
セグメント別 減価償却費	34
セグメント別 減価償却費予想	35
セグメント別 研究費	36
セグメント別 研究費予想	37
主要グループ会社業績動向	38
地域別農薬売上収益	39
海外売上収益	40
売上収益・各段階損益（年度推移）	41
有利子負債・D/Eレシオ（年度推移）	42
株主還元（年度推移）	43

I . 2022年度決算

22年度連結業績概要 (対前年度)

4

単位:億円

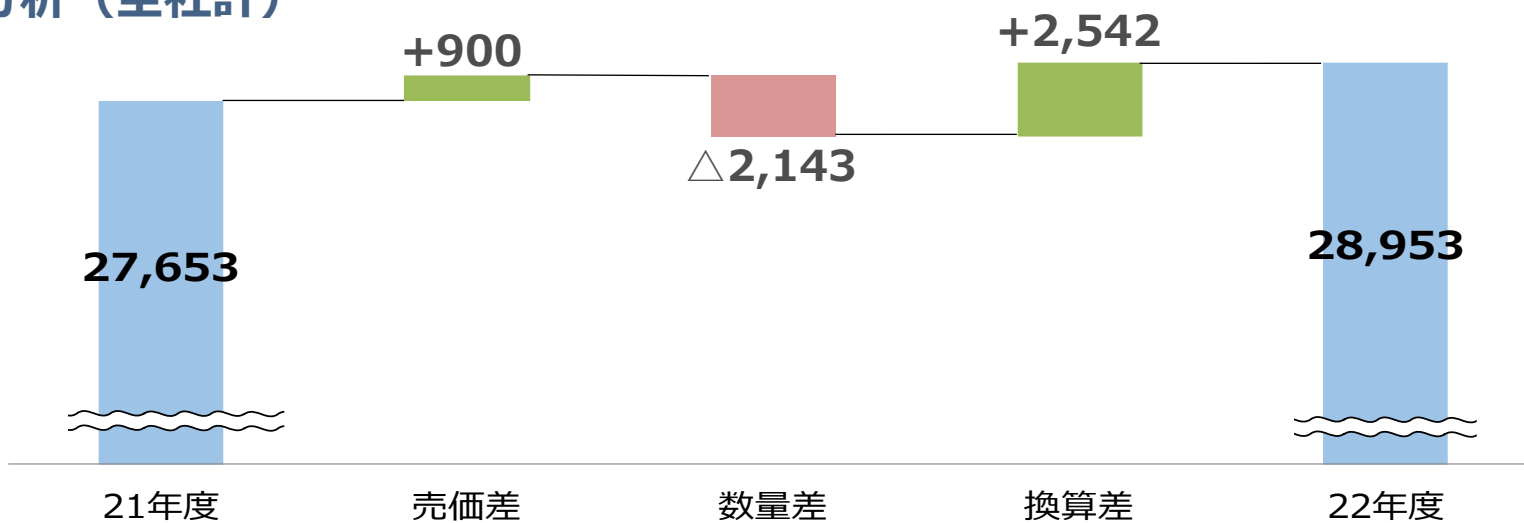
	21年度	22年度	増減	増減率
売上収益	27,653	28,953	1,300	4.7%
コア営業利益	2,348	928	△1,420	△60.5%
(うち持分法による投資損益)	(422)	(△68)	(△490)	-
非経常項目	△198	△1,237	△1,040	-
営業損益	2,150	△310	△2,460	-
金融損益	361	312	△49	-
(うち為替差損益)	(456)	(401)	(△55)	-
法人所得税費用	△647	△471	176	-
非支配持分損益	△243	539	782	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,621	70	△1,551	△95.7%
ROE	14.5%	0.6%		
平均為替レート (円/USD)	112.39	135.50		
ナフサ価格 (円/KL)	56,600	76,600		
海外売上比率	67.7%	67.9%		

セグメント別 売上収益

単位:億円

	21年度	22年度	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	8,425	8,529	104	1.2%	360	△985	729
エネルギー・機能材料	3,164	3,425	261	8.2%	395	△228	94
情報電子化学	4,737	4,312	△425	△9.0%	△75	△757	406
健康・農業関連事業	4,738	5,984	1,246	26.3%	330	208	708
医薬品	5,917	5,849	△68	△1.2%	△110	△563	605
その他	672	854	182	27.1%	0	182	0
合計	27,653	28,953	1,300	4.7%	900	△2,143	2,542

増減分析 (全社計)



セグメント別 コア営業利益

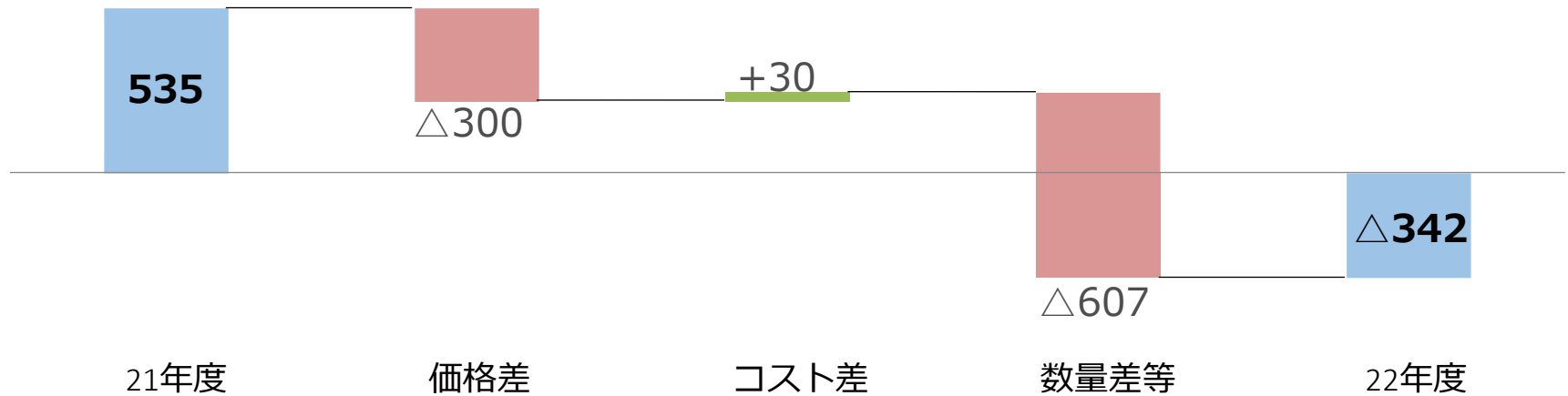
単位:億円

	21年度	22年度	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	535	△342	△877	△300	30	△607
エネルギー・機能材料	201	152	△48	△5	0	△43
情報電子化学	578	476	△102	△105	80	△77
健康・農業関連事業	423	573	150	△70	△60	280
医薬品	617	162	△455	△110	△145	△200
その他 全社費用等	△6	△93	△88	0	0	△88
合計	2,348	928	△1,420	△590	△95	△735

増減分析 (全社計)



22年度コア営業利益 $\Delta 342$ 億円 (前年度比 $\Delta 877$ 億円)



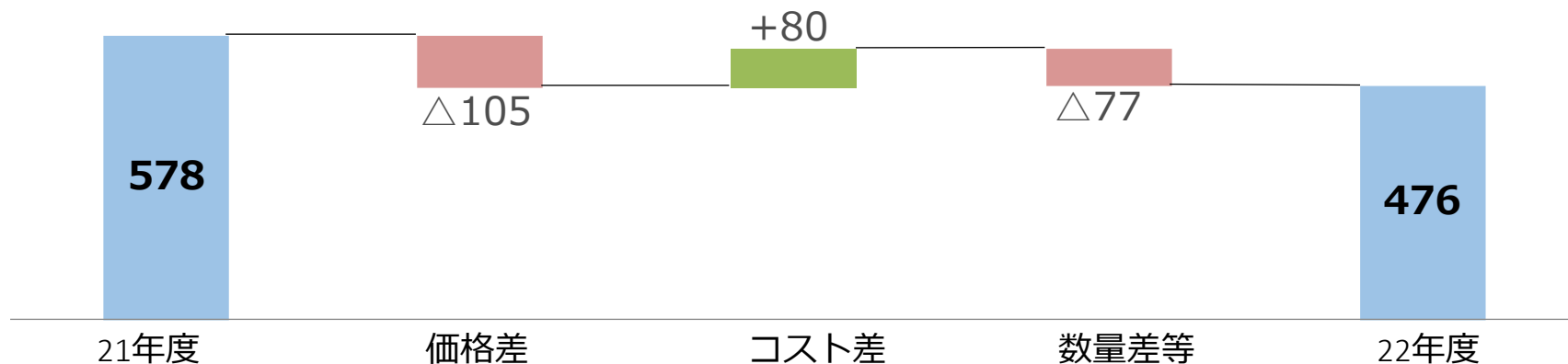
価格差	合成樹脂やメタアクリル、各種工業薬品等は原料・燃料価格の上昇に対し販売価格への転嫁が追いつかず交易条件が悪化
数量差等	持分法損益の悪化に加え、自動車用途を中心に需要が落ち込んだことにより出荷が減少

22年度コア営業利益 152億円 (前年度比△48億円)



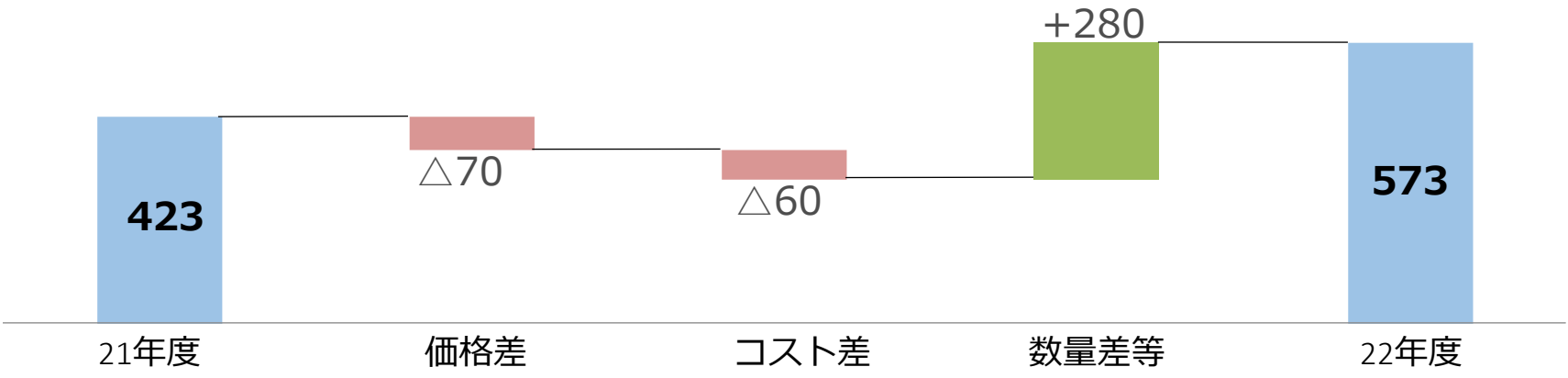
価格差	レゾルシンや合成ゴム等で原料・燃料価格の上昇に伴い交易条件が悪化
数量差等	自動車用途の需要が落ち込んだことにより、レゾルシン等の出荷が減少

22年度コア営業利益 476億円 (前年度比△102億円)



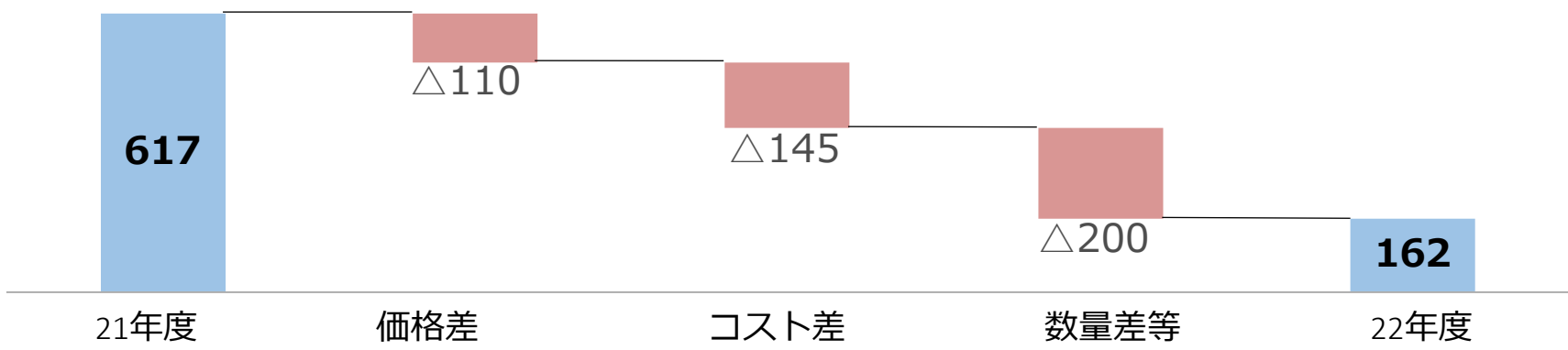
価格差	ディスプレイ	偏光フィルム、タッチセンサーパネルの売価下落
	半導体	
数量差等	ディスプレイ	巣ごもり需要一巡・インフレによる消費マインドの悪化等により出荷が減少
	半導体	需要の伸長に伴いフォトレジストの出荷増加
	全体	円安による輸出手取り増加・邦貨換算差益

22年度コア営業利益 573億円 (前年度比+150億円)



価格差	農薬	南米におけるジェネリック品の売価上昇に伴い交易条件が改善
	メチオニン	原料・燃料価格の上昇により交易条件が悪化
コスト差	農薬	INDIFLIN®垂直立ち上げや新規パイプライン開発費など、事業拡大に伴う経費増加
数量差等	全体	円安による輸出手取り増加・邦貨換算差益

22年度コア営業利益 162億円 (前年度比△455億円)



価格差	日本国内における薬価改定の影響により売価が下落	
コスト差	スミトバント社グループにおいて、オルゴビクスやジェムテサ等の拡販に伴い、販売費及び一般管理費が増加	
数量差等	当期	子会社の株式譲渡や優先審査バウチャーの売却、販売権の譲渡による一時金を収益計上、ラツォーダの米国での独占販売期間の終了
	前期	共同開発・販売提携契約による一時金を計上

単位:億円

	21年度	22年度	増減
減損損失	△81	△ 1,094	△1,013
事業構造改善費用	△106	△ 220	△114
固定資産売却益	7	52	45
条件付対価に係る公正価値変動	33	34	1
その他	△51	△ 9	42
非経常項目 計	△198	△ 1,237	△1,040

単位:億円

	22.3月末	23.3月末	増減
流動資産	18,126	17,629	△498
現金及び現金同等物	3,654	3,058	△596
営業債権及びその他の債権	7,204	6,032	△1,173
棚卸資産	6,514	7,445	931
その他	754	1,094	340
非流動資産	24,955	24,026	△929
有形固定資産	8,230	8,294	63
のれん及び無形資産	7,156	6,709	△448
その他	9,569	9,024	△545
資産合計	43,082	41,655	△1,426

	22.3月末	23.3月末	増減
負債	26,062	26,763	701
営業債務及びその他の債務	5,516	5,159	△357
有利子負債	13,505	14,614	1,109
その他	7,041	6,991	△50
資本	17,020	14,892	△2,128
株主資本	10,828	9,730	△1,098
その他の資本の構成要素	1,353	1,982	629
非支配持分	4,839	3,180	△1,659
負債及び資本合計	43,082	41,655	△1,426
親会社所有者帰属持分比率	28.3%	28.1%	△0.2%
D/Eレシオ(倍)	0.8	1.0	0.2

単位:億円

	21年度	22年度	増減
営業キャッシュ・フロー	1,717	1,116	△601
投資キャッシュ・フロー	△1,154	△ 194	960
フリー・キャッシュ・フロー	563	922	359
財務キャッシュ・フロー	△814	△ 1,785	△971
その他	296	278	△18
現金及び現金同等物の増減	45	△ 585	△630
現金及び現金同等物の当期末残高	3,654	3,058	△596

II. 2023年度予想

23年度業績予想概要（対22年度）

16

単位:億円

	22年度実績	23年度予想	増減	増減率
売上収益	28,953	29,000	47	0.2%
コア営業利益	928	400	△528	△56.9%
（非経常項目）	(△1,237)	(△200)	(1,037)	-
営業損益	△310	200	510	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	70	100	30	43.1%
ROE	0.6%	0.9%		
平均為替レート（円/USD）	135.50	135.00		
ナフサ価格（円/KL）	76,600	70,000		
配当金	中間	12円	6円	
	期末	6円	6円	
	年間	18円	12円	

セグメント別 売上収益予想

単位:億円

	22年度 実績	23年度 予想	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
エッセンシャルケミカルズ	8,529	9,700	1,171	13.7%	△60	1,256	△25
エネルギー・機能材料	3,425	3,700	275	8.0%	10	274	△9
情報電子化学	4,312	4,300	△12	△0.3%	△140	214	△86
健康・農業関連事業	5,984	6,100	116	1.9%	△270	541	△155
医薬品	5,849	4,000	△1,849	△31.6%	0	△1,836	△12
その他	854	1,200	346	40.5%	0	346	0
合計	28,953	29,000	47	0.2%	△460	795	△287

増減分析 (全社計)

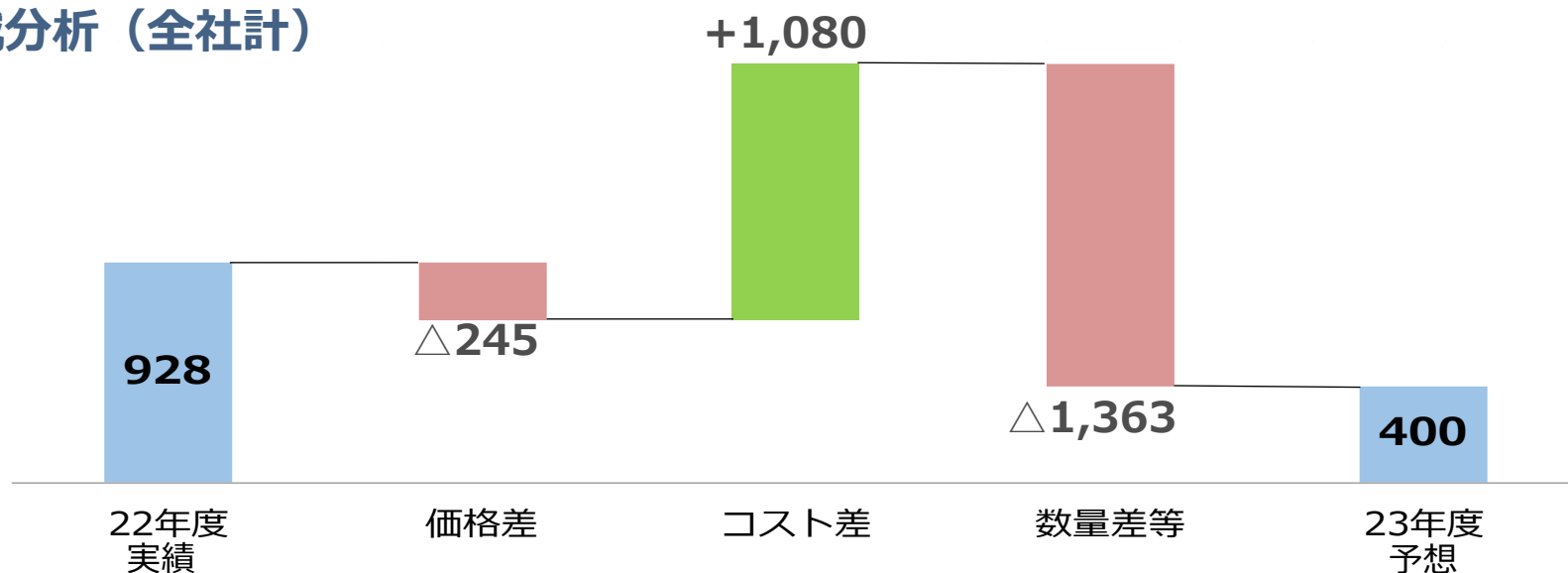


セグメント別 コア営業利益予想

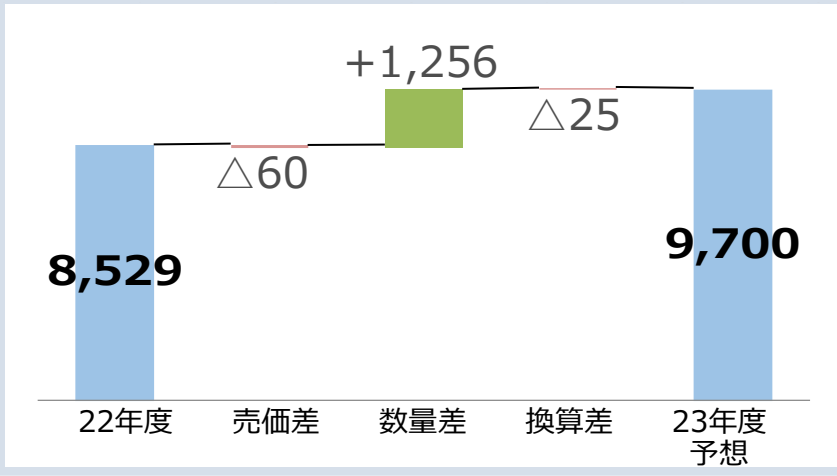
単位:億円

	22年度 実績	23年度 予想	増減	価格差	コスト差	数量差等
エッセンシャルケミカルズ	△342	△70	272	155	15	102
エネルギー・機能材料	152	130	△22	△25	△45	48
情報電子化学	476	380	△96	△150	40	14
健康・農業関連事業	573	620	47	△225	△20	292
医薬品	162	△610	△772	0	1,085	△1,857
その他 全社費用等	△93	△50	43	0	5	38
合計	928	400	△528	△245	1,080	△1,363

増減分析 (全社計)



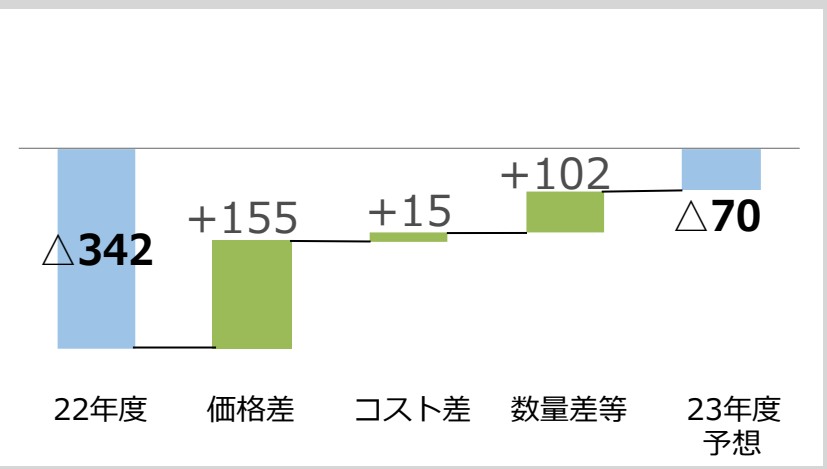
売上収益増減



9,700億円 (前年度比 +1,171億円)

- 売価差 □ 市況下落
△60億円
- 数量差 □ 需要回復
+1,256億円
- 換算差
△25億円

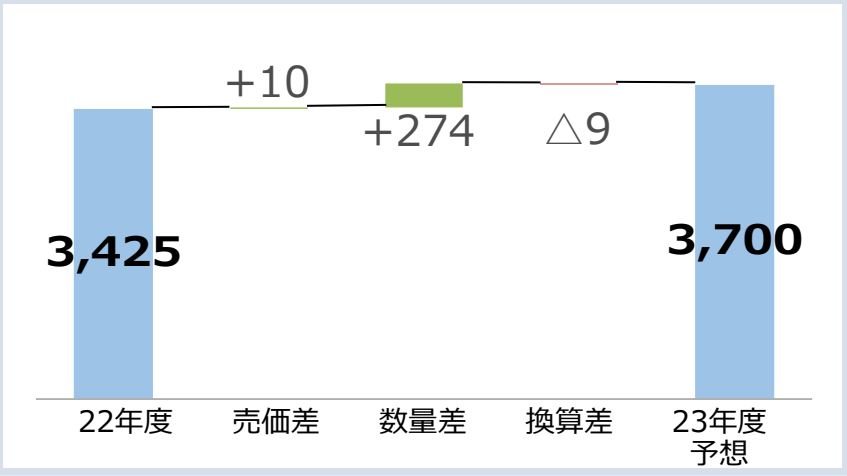
コア営業利益増減



△70億円 (前年度比 +272億円)

- 価格差 □ 原料価格下落により交易条件改善
+155億円
- コスト差
+15億円
- 数量差等 □ 持分法損益改善
□ 需要回復
+102億円

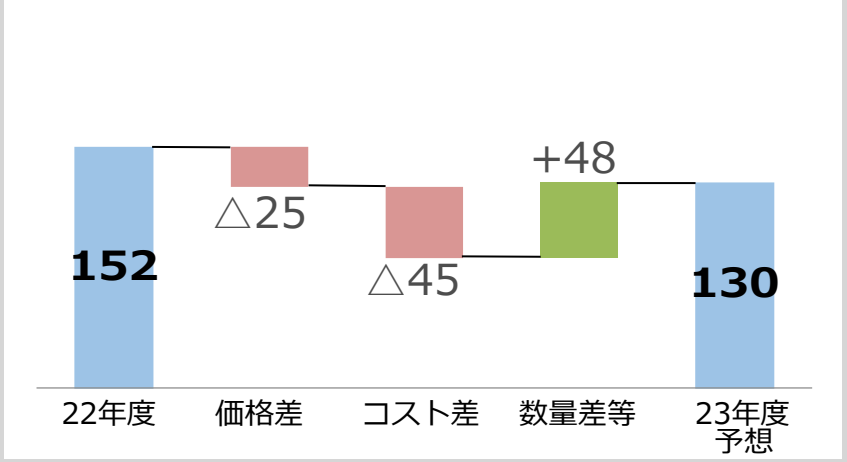
売上収益増減



3,700億円 (前年度比 +275億円)

- 売価差 +10億円
- 数量差 +274億円 □ 需要回復
- 換算差 △9億円

コア営業利益増減



130億円 (前年度比 △22億円)

- 価格差 △25億円 □ 市況下落、燃料価格上昇に伴う交易条件悪化
- コスト差 △45億円 □ 研究費増加 □ 償却費増加
- 数量差等 +48億円 □ 正極材料・スーパーエンジニアリングプラスチック等出荷増加

売上収益増減



4,300億円 (前年度比 △12億円)

売価差
△140億円

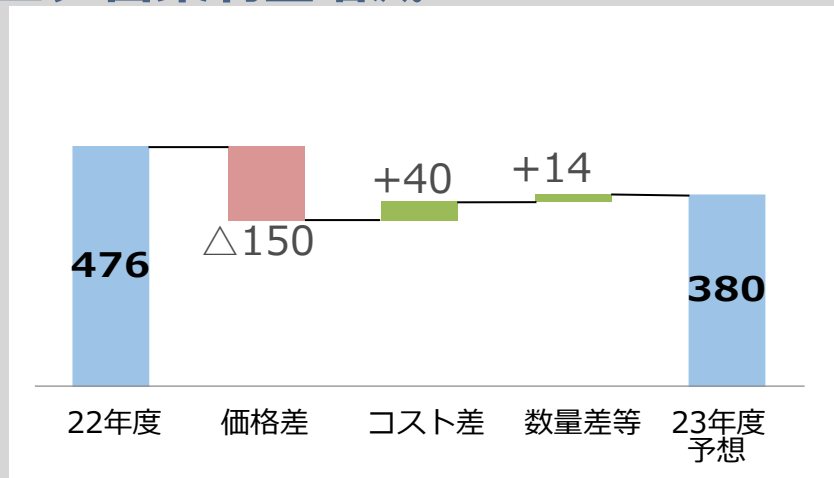
□ ディスプレイ関連材料売価下落

数量差
+214億円

□ 半導体プロセス材料出荷増加

換算差
△86億円

コア営業利益増減



380億円 (前年度比 △96億円)

価格差
△150億円

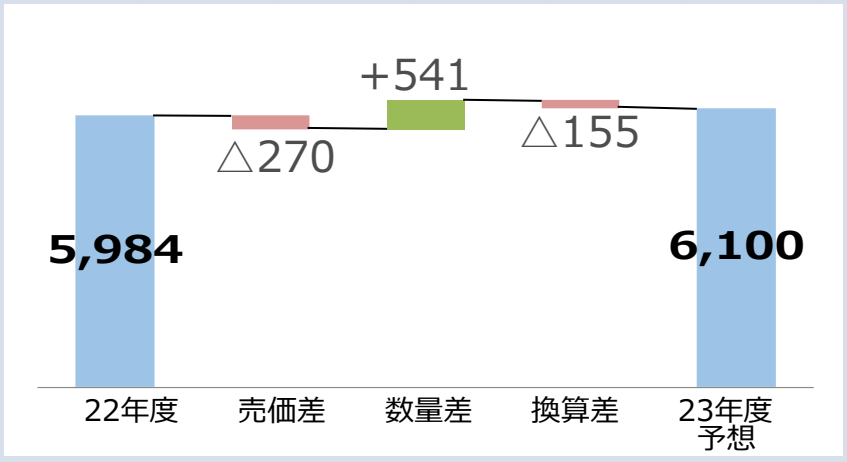
□ ディスプレイ関連材料売価下落

コスト差
+40億円

□ 原料合理化、収率向上等

数量差等
+14億円

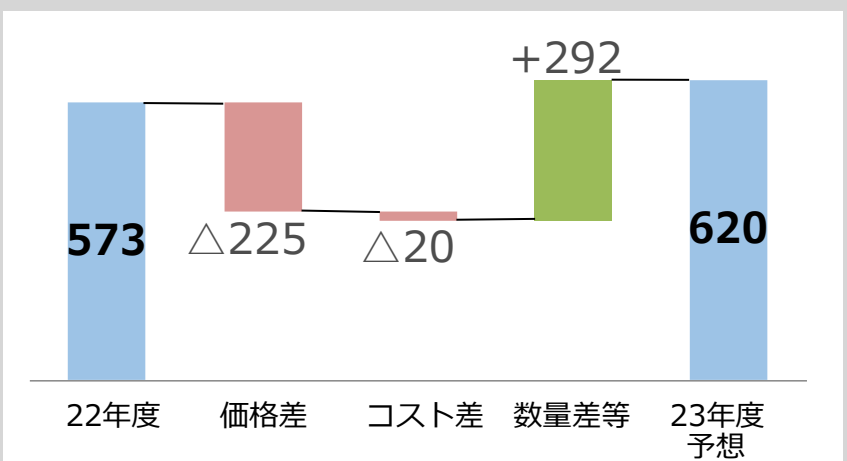
売上収益増減



6,100億円 (前年度比 +116億円)

- 売価差**
Δ270億円
 - 南米ジェネリック品における22年度高騰売価の平準化
 - メチオニン市況下落
- 数量差**
+541億円
 - 北米・南米等での農薬出荷増加
 - メチオニン需要回復
- 換算差**
Δ155億円

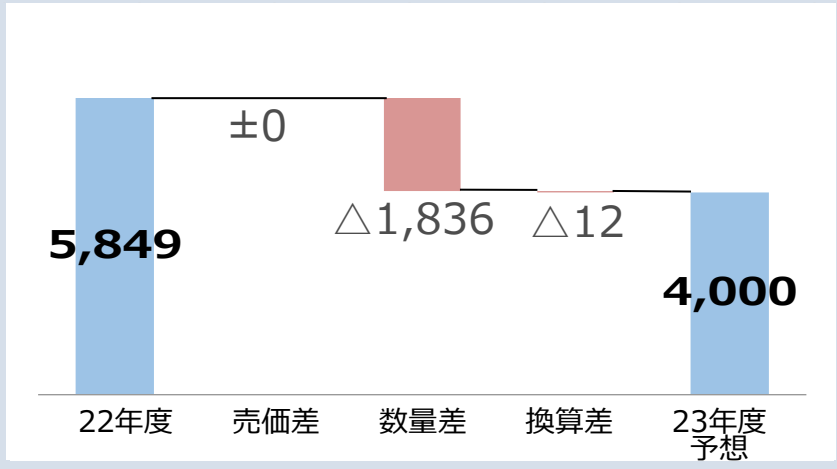
コア営業利益増減



620億円 (前年度比 +47億円)

- 価格差**
Δ225億円
 - 南米ジェネリック品における22年度高騰売価の平準化
 - メチオニン交易条件悪化
- コスト差**
Δ20億円
 - 事業拡大に伴う経費増加
- 数量差等**
+292億円
 - 北米・南米等での農薬出荷増加
 - メチオニン需要回復

売上収益増減



4,000億円 (前年度比 △1,849億円)

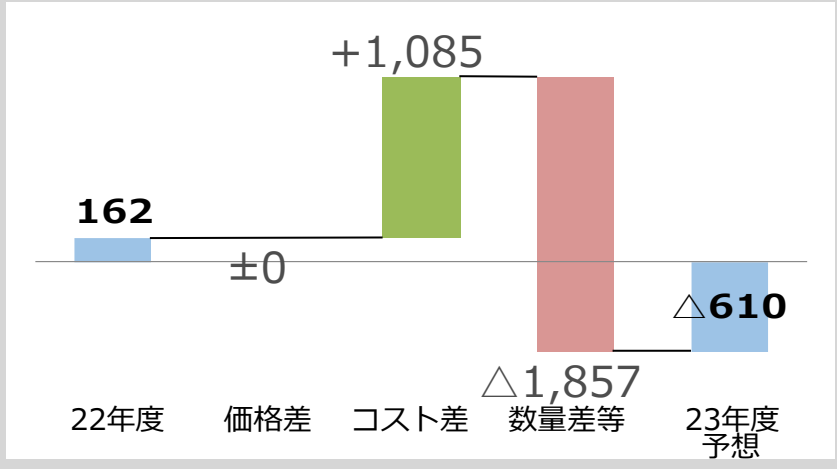
売価差
±0億円

数量差
△1,836億円

- ラツータ独占販売期間の終了
- ポストラツータ品目拡販

換算差
△12億円

コア営業利益増減



△610億円 (前年度比 △772億円)

価格差
±0億円

コスト差
+1,085億円

- 再編・合理化による固定費削減

数量差等
△1,857億円

- ラツータ独占販売期間の終了
- ポストラツータ品目拡販

単位:億円

	22年度	23年度予想	増減
営業キャッシュ・フロー	1,116	△200	△1,316
投資キャッシュ・フロー	△194	△2,050	△1,856
フリー・キャッシュ・フロー	922	△2,250	△3,172
財務キャッシュ・フロー	△1,785	△50	1,735
その他	278	0	△278
現金及び現金同等物の増減	△585	△2,300	△1,715
期末有利子負債残高	14,614	14,900	286

(参考資料)

セグメント別売上収益（四半期推移）

単位:億円

	21年度				22年度				23年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期予想	下期予想
エッセンシャルケミカルズ	1,995	2,000	2,255	2,176	2,386	2,287	2,082	1,774	4,800	4,900
エネルギー・機能材料	744	741	782	897	864	871	836	853	1,800	1,900
情報電子化学	1,093	1,184	1,244	1,217	1,147	1,075	1,164	926	2,000	2,300
健康・農業関連事業	1,031	1,064	1,215	1,428	1,526	1,413	1,453	1,592	2,900	3,200
医薬品	1,392	1,704	1,467	1,354	1,677	1,667	1,480	1,024	1,800	2,200
その他	136	170	164	203	142	230	269	213	400	800
合計	6,390	6,862	7,127	7,274	7,741	7,544	7,285	6,382	13,700	15,300

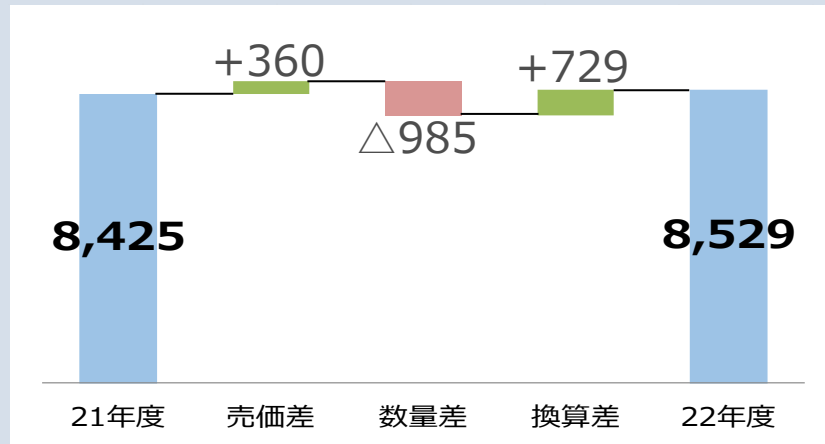
セグメント別コア営業利益 (四半期推移)

単位:億円

	21年度				22年度				23年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	上期予想	下期予想
エッセンシャルケミカルズ	238	182	100	15	100	133	△253	△322	△170	100
エネルギー・機能材料	67	59	61	14	66	68	34	△16	50	80
情報電子化学	135	160	164	119	158	107	173	39	120	260
健康・農業関連事業	103	82	94	144	219	144	109	101	240	380
医薬品	96	403	125	△7	141	111	179	△269	△490	△120
その他 全社費用等	△23	△14	25	6	△43	△48	23	△26	△50	0
合計	617	872	568	291	641	515	265	△494	△300	700

売上収益分析 (22年度 対前年度)

エッセンシャルケミカルズセグメント



8,529億円 (前年度比 +104億円)

売価差
+360億円

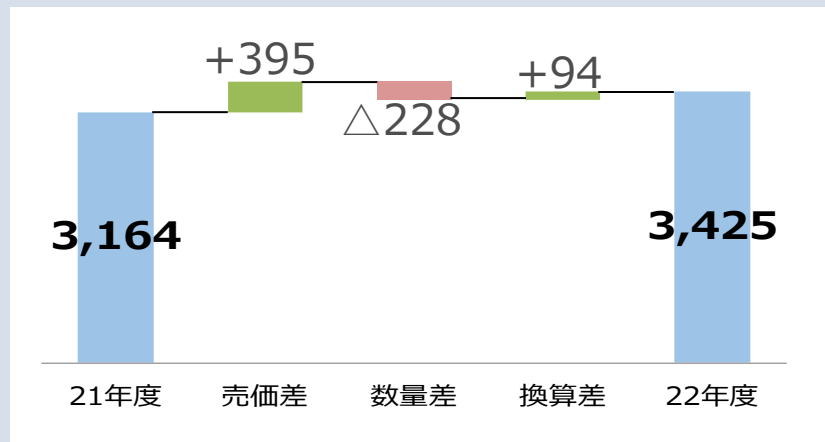
■ 市況上昇

数量差
△985億円

■ 自動車用途等出荷減 (合成樹脂等)

換算差
+729億円

エネルギー・機能材料セグメント



3,425億円 (前年度比 +261億円)

売価差
+395億円

■ 正極材料売価上昇
■ アルミニウム売価上昇

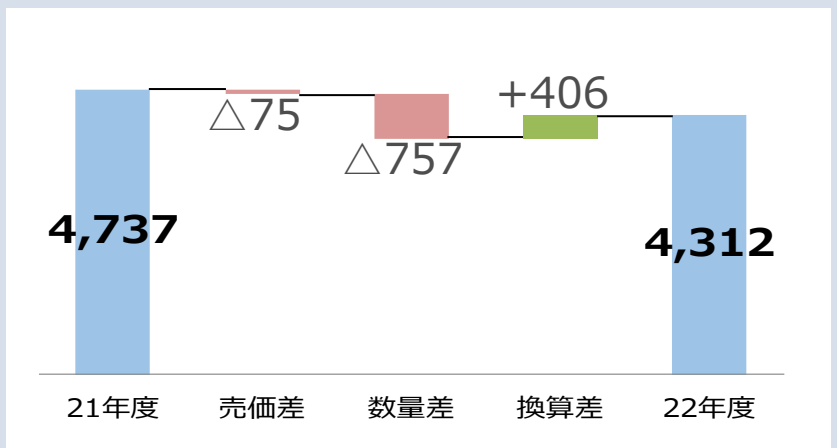
数量差
△228億円

■ 自動車用途等出荷減 (アルミニウム・レジスト等)

換算差
+94億円

売上収益増減分析(22年度 対前年度)

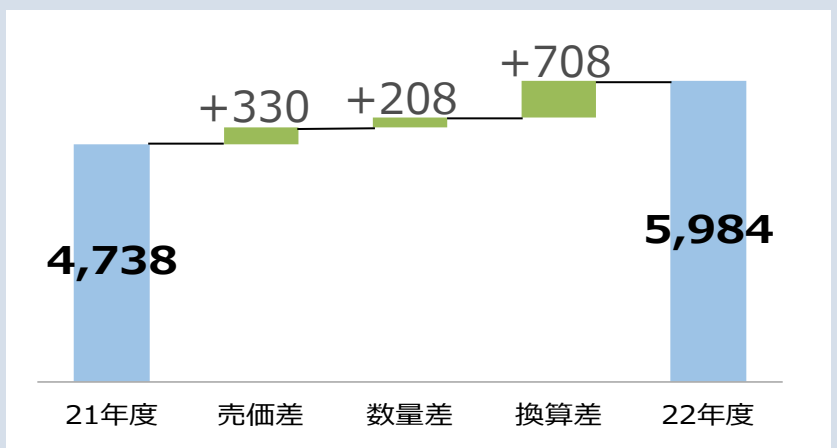
情報電子化学セグメント



4,312億円 (前年度比 △425億円)

- 売価差**
△75億円
 - 偏光フィルム売価下落
- 数量差**
△757億円
 - ディスプレイ関連材料出荷減少
 - 半導体用ケミカル出荷減少
- 換算差**
+406億円

健康・農業関連事業セグメント

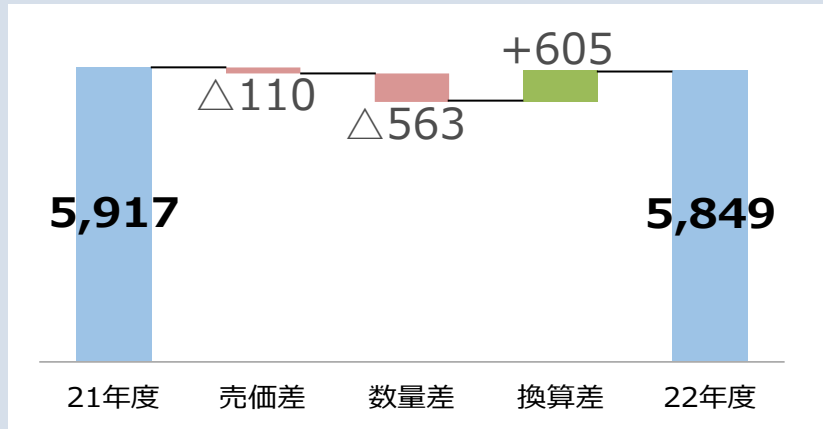


5,984億円 (前年度比 +1,246億円)

- 売価差**
+330億円
 - 南米ジェネリック品売価上昇
- 数量差**
+208億円
 - 南米・インド等における農薬出荷増加
- 換算差**
+708億円

売上収益増減分析 (22年度 対前年度)

医薬品セグメント



5,849億円 (前年度比 △68億円)

売価差
△110億円

- 国内薬価改定

数量差
△563億円

- 前年同期には共同開発・販売提携契約による一時金を計上
- 北米オルゴビクス・ジェムテサ等出荷増加
- オルゴビクス欧州販売ライセンス契約等による一時金の収益計上

換算差
+605億円

単位:億円

	21年度	22年度	23年度予想
設備投資	1,195	1,411	1,800
減価償却費	1,567	1,680	1,640
研究費	1,749	1,956	1,920
期末人員 (人)	34,703	33,572	34,000

単位:億円

	21年度	22年度	増減
エッセンシャルケミカルズ	253	302	49
エネルギー・機能材料	268	266	△2
情報電子化学	166	328	162
健康・農業関連事業	168	243	75
医薬品	196	141	△55
その他 全社費用等	144	130	△13
合計	1,195	1,411	216

単位:億円

	22年度	23年度予想	増減
エッセンシャルケミカルズ	302	365	63
エネルギー・機能材料	266	350	84
情報電子化学	328	405	77
健康・農業関連事業	243	350	107
医薬品	141	205	64
その他 全社費用等	130	125	△5
合計	1,411	1,800	389

セグメント別 減価償却費

単位:億円

	21年度	22年度	増減
エッセンシャルケミカルズ	263	301	38
エネルギー・機能材料	191	193	2
情報電子化学	267	266	△1
健康・農業関連事業	269	287	18
医薬品	412	440	28
その他 全社費用等	165	193	28
合計	1,567	1,680	113

単位:億円

	22年度	23年度予想	増減
エッセンシャルケミカルズ	301	305	4
エネルギー・機能材料	193	210	17
情報電子化学	266	265	△1
健康・農業関連事業	287	265	△22
医薬品	440	395	△45
その他 全社費用等	193	200	7
合計	1,680	1,640	△40

単位:億円

	21年度	22年度	増減
エッセンシャルケミカルズ	71	74	3
エネルギー・機能材料	83	88	5
情報電子化学	199	199	0
健康・農業関連事業	278	313	35
医薬品	966	1,096	130
その他 全社費用等	153	187	34
合計	1,749	1,956	207

単位:億円

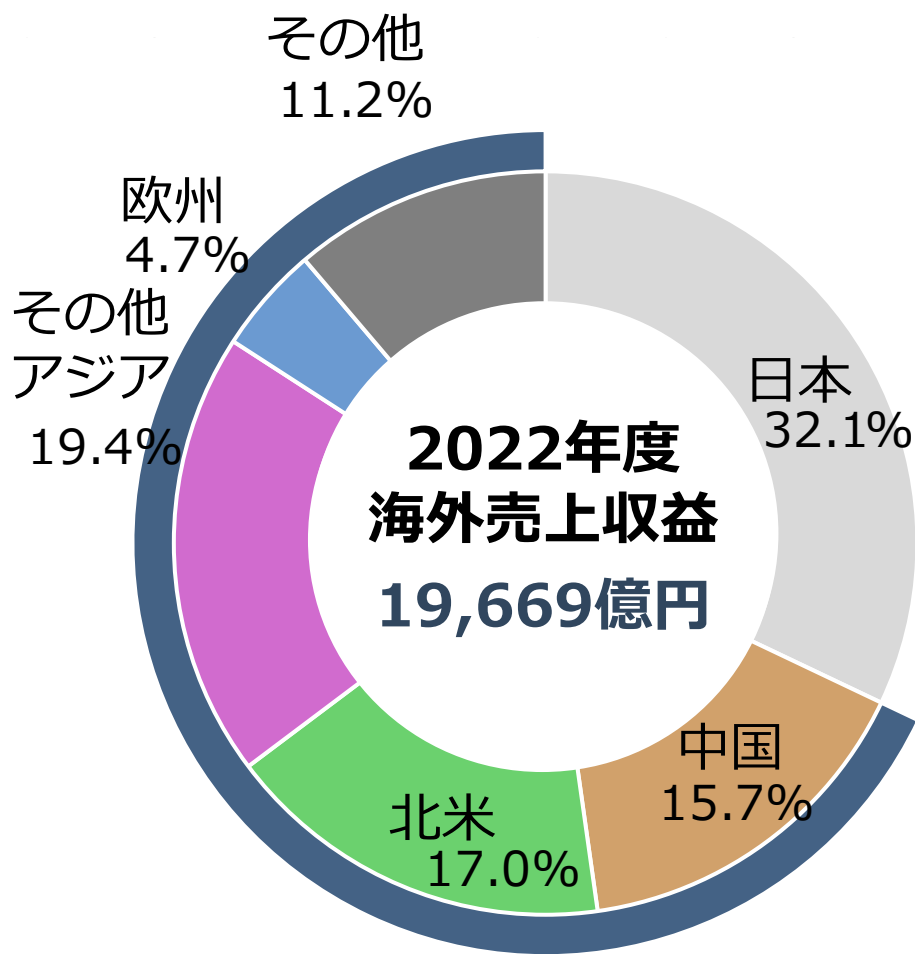
	22年度	23年度予想	増減
エッセンシャルケミカルズ	74	85	11
エネルギー・機能材料	88	130	42
情報電子化学	199	230	31
健康・農業関連事業	313	375	62
医薬品	1,096	900	△196
その他 全社費用等	187	200	13
合計	1,956	1,920	△36

外貨ベース

会社名	売上収益		利益動向
	21年度	22年度	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	1,283	1,082	↘ 交易条件悪化
ペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポール (百万USD)	2,847	2,550	↘ 交易条件悪化
ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	45,638	55,952	↘ 石油精製マージンの悪化・石化品交易条件悪化
東友ファインケム (億KRW)	25,996	20,774	↘ ディ스플레이関連材料販売数量減少による減益
ベーラント ノースアメリカ (連結ベース) (百万USD)	854	875	↘ 経費の計画的な執行により減益

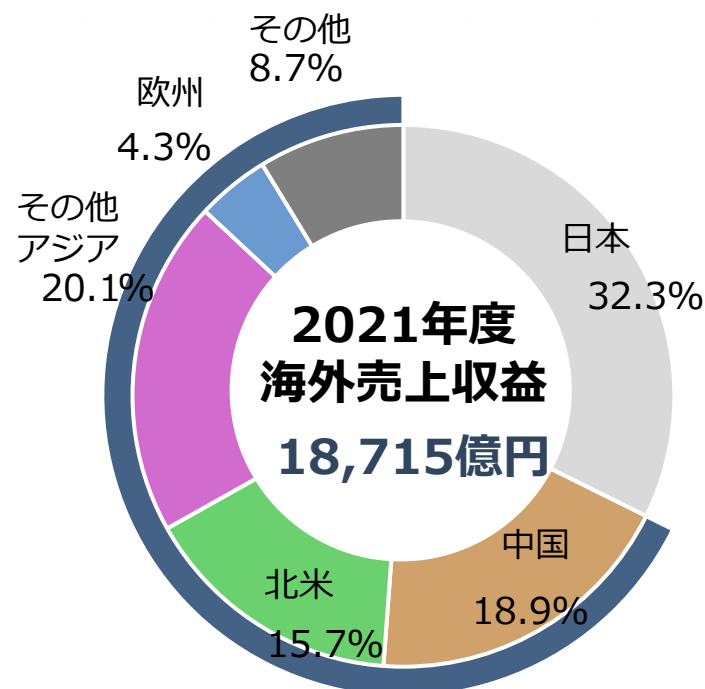
単位:億円

	21年度	22年度	増減	主な差異要因
日本	794	822	28	・肥料の原料価格高騰に伴う売価上昇
北米	661	807	146	・邦貨換算差
中南米	1,129	1,857	728	・邦貨換算差 ・出荷数量増加および売価上昇
アジア (インド含む)	512	647	135	・邦貨換算差 ・インドにおける出荷数量増加
欧州その他	263	313	50	・邦貨換算差 ・欧州における出荷増加
合計	3,359	4,446	1,087	



海外売上比率

67.9%

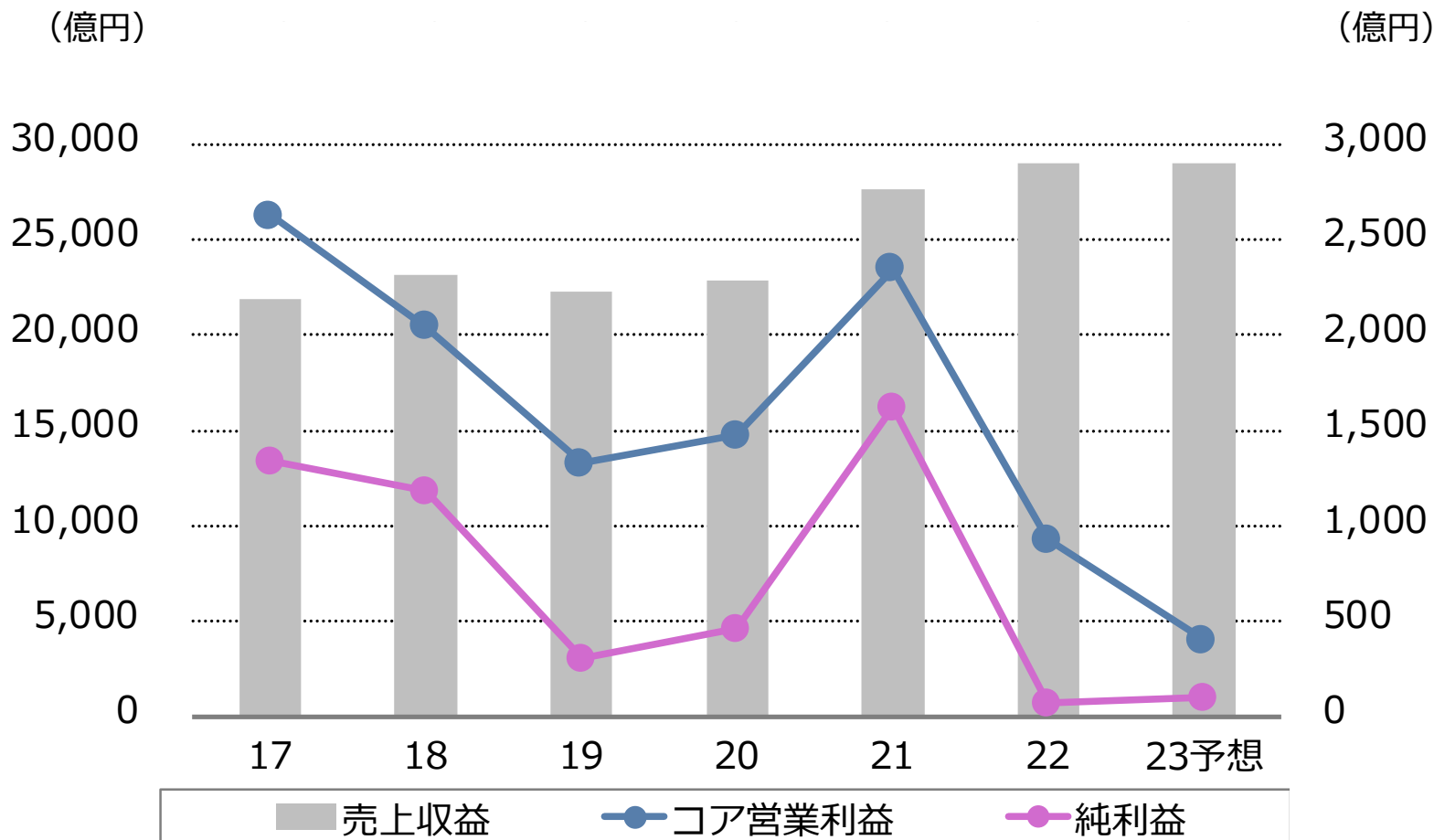


海外売上比率

67.7%

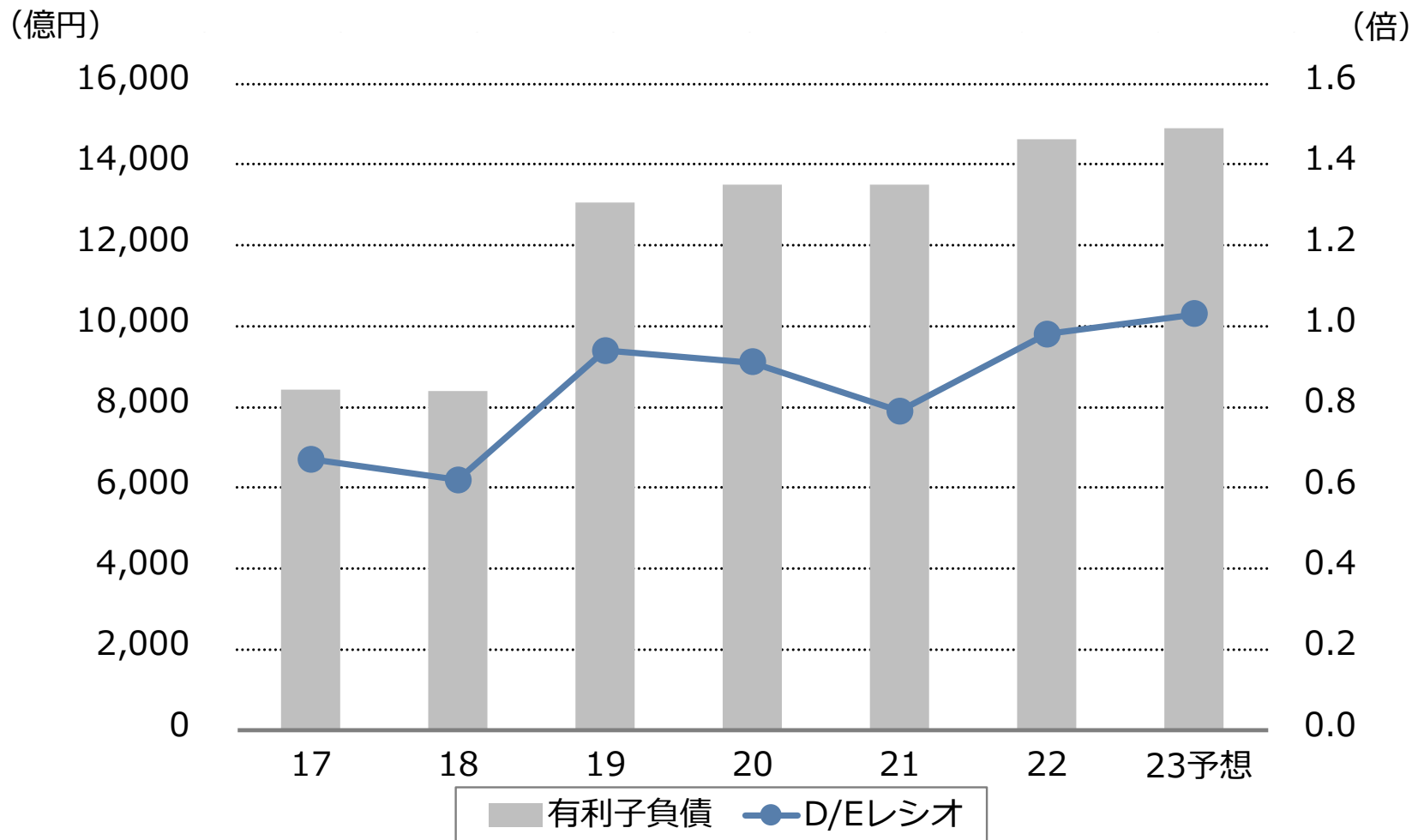
売上収益

損益



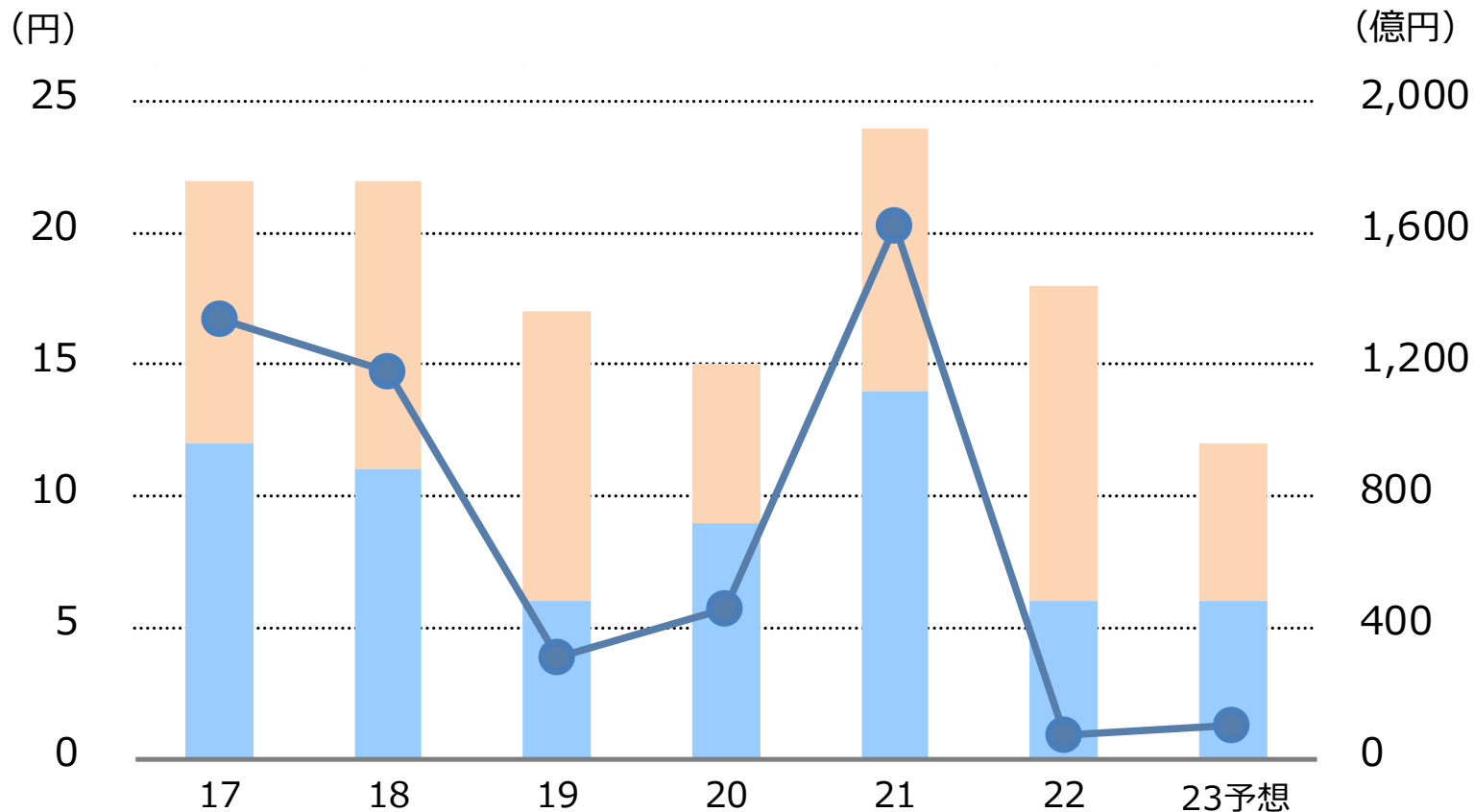
有利子負債残高

D/Eレシオ



一株当たり配当金

親会社株主に帰属する当期利益



配当性向 (%)

26.9

30.5

89.9

53.3

24.2

421.2

196.2

■ 期末配当

■ 中間配当

●— 親会社株主に帰属する当期利益